平成28年11月11日

各　位

会 社 名：　住江織物株式会社
代表者名：　取締役会長兼社長　吉川　一三
（コード番号：3501 東証第一部）
問合せ先：　執行役員経営企画室部長　新實 啓悦
（TEL 06－6251－6803）

（再訂正）「平成26年５月期 第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成28年10月28日に開示いたしました『（訂正）「平成26年５月期 第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について』の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

１．訂正内容と理由
有価証券報告書等の訂正報告書の確認作業において、誤記載が判明したものであります。

２．訂正箇所
（訂正）「平成26年５月期 第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について
訂正後の記載
サマリー情報
１．平成26年５月期第２四半期の連結業績（平成25年６月１日～平成25年11月30日）
（１）連結経営成績(累計)
添付資料
１．当四半期決算に関する定性的情報
（１）経営成績に関する説明
（２）財政状態に関する説明
① 資産、負債および純資産の状況
なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以　上

訂正後の記載

サマリー情報

１．平成26年５月期第２四半期の連結業績（平成25年６月１日～平成25年11月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（訂正後）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年５月期第２四半期	43,936	12.1	1,494	62.9	1,842	70.5	936	51.4
25年５月期第２四半期	39,176	8.1	917	646.9	1,080	464.2	618	―

(注)　包括利益　26年５月期第２四半期 1,834百万円（ 107.7%）25年５月期第２四半期　　882百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年５月期第２四半期	12.41	―
25年５月期第２四半期	8.19	―

（訂正前）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年５月期第２四半期	43,936	12.2	1,494	62.9	1,842	70.5	936	51.4
25年５月期第２四半期	39,176	8.1	917	646.9	1,080	464.2	618	―

(注)　包括利益　26年５月期第２四半期 1,834百万円（ 107.7%）25年５月期第２四半期　　882百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年５月期第２四半期	12.41	―
25年５月期第２四半期	8.19	―

添付資料

1．当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

(訂正後)

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策効果を背景に円安と株高が進行し、企業の収益改善や個人消費の持ち直しの動きが見られる等、景気は回復傾向となりました。一方、海外では、米国経済は緩やかに回復しているものの、欧州では債務問題に起因した景気低迷が長引き、また中国は成長鈍化が明確になりました。アセアン諸国では、マネーの流出から自国通貨安が進行して、これまでの高度成長にやや減速感が見られるものの、依然として高い伸びが期待されています。

このようななか、当第２四半期における連結業績は、売上高439億36百万円（前年同期比12.1％増）、営業利益14億94百万円（同62.9％増）、経常利益18億42百万円（同70.5％増）、四半期純利益９億36百万円（同51.4％増）となりました。

＜後略＞

(訂正前)

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策効果を背景に円安と株高が進行し、企業の収益改善や個人消費の持ち直しの動きが見られる等、景気は回復傾向となりました。一方、海外では、米国経済は緩やかに回復しているものの、欧州では債務問題に起因した景気低迷が長引き、また中国は成長鈍化が明確になりました。アセアン諸国では、マネーの流出から自国通貨安が進行して、これまでの高度成長にやや減速感が見られるものの、依然として高い伸びが期待されています。

このようななか、当第２四半期における連結業績は、売上高439億36百万円（前年同期比12.2％増）、営業利益14億94百万円（同61.7％増）、経常利益18億42百万円（同69.4％増）、四半期純利益９億36百万円（同49.8％増）となりました。

＜後略＞

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(訂正後)

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ53億47百万円増加し852億49百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ35億28百万円増加し511億62百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億19百万円増加し340億86百万円となりました。

(訂正前)

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ51億58百万円増加し852億49百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ35億75百万円増加し511億62百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ15億83百万円増加し340億86百万円となりました。